

電気通信工事23年の現場経験をもつ

高所作業車専門店社長と

高所作業車の点検修理11年で7537件の

専門メンテ会社社長による

無料ガイドブック



「電工仕様の高所作業車」を探す社長のための

中古の高所作業車を探す6ヶ月前には知っておくべき

【失敗しない中古の高所作業車の選び方】

高所作業車専門アドバイザー 大和 幸治（やまと こうじ）

高所作業車メンテナンス・アドバイザー 鈴木 輝明（すずき てるあき）

【注】

必要時に、すぐ取り出して確認できるように
ぜひ、この小冊子を印刷して
お手元にお取り置きください。



高所作業車・専門アドバイザーグループ 一同より

はじめに一

はじめまして、高所作業車専門アドバイザーの大和幸治（やまところじ）と申します。

私はもともと、電気通信工事業を23年やっていたこともあり、今は高所作業車専門店を経営しながら「高所作業車を教えるプロ」として活動しています。

今回、私の会社と併設している「高所作業車のメンテナンス専門」の（株）スラスト・鈴木輝明社長と協力をしながら、このガイドブックを作成しました。

このガイドブックは、特に「電工仕様」の高所作業車を探している方を、守るためにつくったものです。

お分かりのとおり、中古といっても高所作業車は、とても高い買い物です。

よくわからないまま、自分の仕事に合わない高所作業車を買ってしまって、仕事で苦勞したり、後悔したことがあると、お客様からよく耳にします。

しかも専門的な車輛ですから「とりあえず動くから」で買ったとしても、状態によっては、購入した後に何万。大変な場合は、百何万と、余計なお金がかかる事があります。

お金だけではなく、仕事できたはずの時間もロスしますし、お客様に迷惑をかけてしまうこともありますよね。最悪、死亡事故の可能性もあります。

私たちは、あなたにそのような思いをさせたくない。その一心で、このガイドブックを無料でお渡しできるようにと、用意してきました。

ぜひ、このガイドブックをお読みいただいて、

- ・いつでも、安心して相談できる高所作業車のパートナーを得て
- ・失敗しない中古の高所作業車を手にして
- ・トラブルなく安全に、あなたのお仕事が発展していきますよう

心から願っております。

それでは、本文をお読みいただけましたら幸いです。

1章 — せつかく自分で高所作業車を買ったのに

いつもは、レンタカーで使っていた高所作業車。

1年間のレンタル価格が100万円を超えるようになった頃

「そろそろ買った方がいいかなあ…」 「借りにいくのも面倒だしなあ…」

そんなことを考えるようになった。

「中古でいいから、近くで売ってる店ないかな？」

「レンタルしてたのと同じようなのでいいんだけど。」

ネットで調べてみたが、値段もバラバラ。

いくつかの高所作業車に目星はつけてみたものの…詳細が載ってなかったり、

「15年たってるのに、こんなに高いの？」という年式の割には、妙に安いものもあった。

そんな中・・・

いくつか見ているうちに、「これよさそう。」と思えるものがあった。

手頃な値段で、程度もよさそうな感じがする。お店はトラック専門店だ。

近くの店だったこともあり、さっそく見に行くことにした。

・・・

「こんにちは～。ネットで高所作業車みたんですけど。ありますか？」

「ありますよ～」・・・どんな人が出てくるかと思ってちょっと不安だったが、お店のおじさんは、人当たりがよさそうなので、ホッとした。

ただ、ネットで調べている時には、他店と比べて少し安いのが気になっていた
ので、話をしながらさりげなく「修理してあるんですかね～」と聞いてみる。

「動作確認はしてあるから」との事だった。

許可をもらって試しに動かしてみたが、一通り動くようだ。

「これなら使えそうだな」と思って、買うことにした。

最後に「上物（うわもの）は自分でやってね（現状販売）」と、お店の人は言
っていた。

「よし、高所作業車も無事買えたことだし、これからもっと稼がないと」
いき込んでいた。

納車のあとに、上物のメンテ業者さんに「特定自主検査」を頼むことにした。

検査が終わって戻ってきたときに、一通り不具合箇所の説明をうけた。

…ちょっとイヤな予感がした。

「〇〇と〇〇が悪くて、危ないですよ」

「そうなんですか？動かした感じでは、大丈夫だったようですけど」

「いや、〇〇などは、そのまま使ったら事故の危険がありますよ。」

さすがに、危ない状態で仕事をしてられない。仕方ない、見積もりを取ることになった。

…1週間後、メンテ業者さんから見積りが届き、さっそく見てみると

「えっ！？…こんなにかかるの??」その内容に驚いてしまった。

なんとも言えない気持ちになって、茫然としてしまった。

「こんな高所作業車を売ってるのかあ…」

2章 — 「上物の価値があいまい」な、中古車流通

これは特に「中古の特殊車両」では、ありがちな話です。

この章では「どうしてこんな事が起きるか」をご説明しますね。

中古車というのは「車のオークション」で仕入れられています。

中古車販売店だけが入れる専用の「自動車オークション」です。

高所作業車も中古車なら、やっぱりこのオークションで仕入れられます。

ただ、高所作業車が一般の車と違うところは、上物（うわもの）と呼ばれる、バケット部、ブームなどの「架装部（かそうぶ）」があることです。

車の部分（トラック）に、架装部がセットになっていますので、

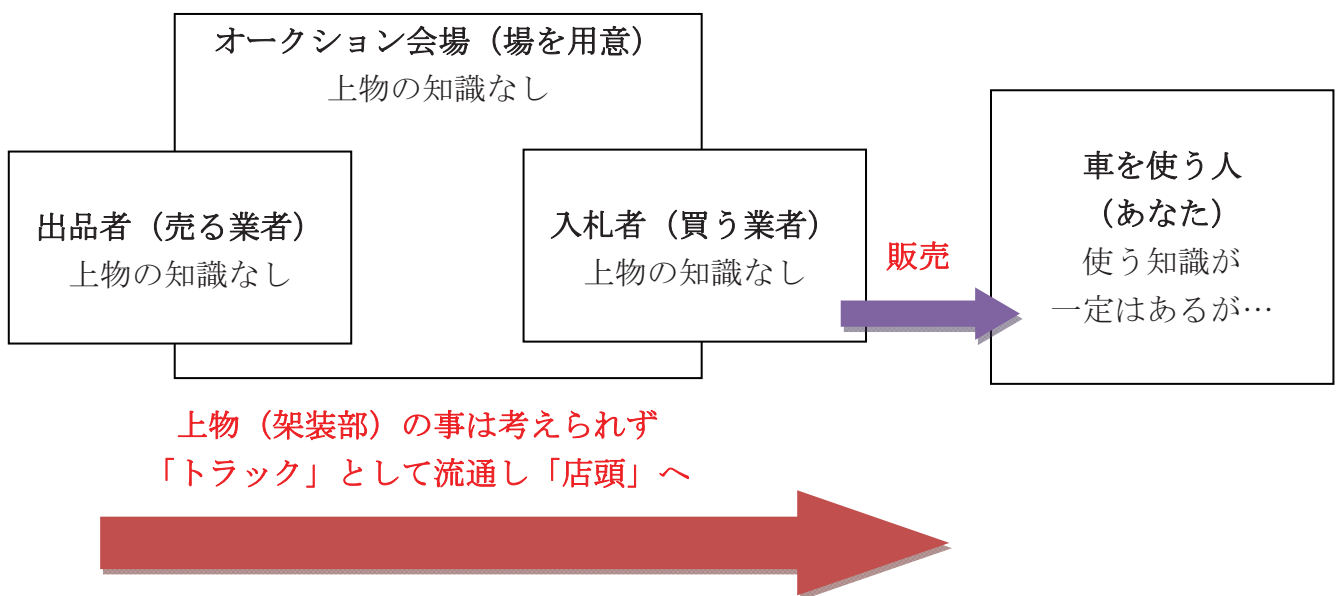
高所作業車は「車と道具がセットになったもの」と考える必要があります。

しかし、オークション会場では、上物（架装部）を販売しているのではなく、車の部分（トラック）を販売しているのです。

場所を提供して、「車」を仲介するのが仕事でしょうから、当たり前的事なのかもしれませんが、不思議なことがあります。

それは、買い取り店・買い取り業者や、リース会社・レンタカー会社といった「上物の知識のない人たち」がオークションに出品し、オークション会場という、これまた「上物の知識のない人たち」を介して、さらに「上物の知識がない、中古車販売業者」が買う。

図にしてみると



とても不思議な構図だと思いませんか？

「え??じゃあ、中古車販売店の仕事って何?プロの仕事じゃないの?」と、思わず絶句してしまう内容ですが、実際問題こんな形になってしまいます。

彼らは、おそらく、真面目に「車 (トラック部)」を取引しています。

しかし「上物 (架装部)」を中心に取引しているではありません。

中には「上物（架装部）」ちゃんと考えながらやっている人達もいるでしょう。
ですから「絶対」とは言い切れません。ですが、上物に関する知識がないため
に、このような事が多いのが、現状ではないでしょうか。

そうすると、どんな事が起きるのでしょうか？

例えば、こんなことになります。

ちょっと、想像してみてください。

業者さんは「上物（架装部）」を知らないが、売るために仕入れて店頭へ。

その後、電気会社の社長が、その車を購入することにした。

しかし、納車後に、「上物の検査を受けて、不具合があると気が付く」

そして、余計なお金、余計な時間がかかり、仕事が止まり…

というようなパターンです。

自分が「いざ、使うぞ！」という時に、こんなことになるかもと考えたら

「頼むからちゃんと仕事してくれよ」って思いますし、ゾッとしますよね。

しかも中古車販売は「年式」や「距離」などが基準になりますよね。

そうすると、新しめのトラックに、古い上物（架装部）を載せ替えたりすると

- ・トラック部は、新しい年式 という形になりますよね。

- ・だけど、上物（架装部）は古い

こういう高所作業車が「いい」と思う方は、少ないのではないのでしょうか？

繰り返しますが、中古車の多くは「年式」や「距離」を基準に取引される（流通する）ので、高所作業車を知らない業者なら、やはりそこで判断され、価格が決定されることになります。

質の善し悪しが「車の部分だけ（上物ムシ）」で判断されることになりかねないのです。

結果、トラックは新しいけど、上物は「何これ？」という高所作業車が、理解できない価格で、店頭で並べられたりするわけですね。

ここまできると、悲しくなってきましたね。

第3章 ー なぜ私たちが、この小冊子をつくったのか

改めて自己紹介をさせていただきます。

高所作業車専門アドバイザーの大和幸治です。

冒頭でふれましたが、私には、電気通信工事業23年の経験があります。

もともと私の会社で電気通信工事を行っていた時は、高所作業車を7台保有し、日々、現場の管理や、自らも現場に出向くなどしておりました。

はじめは、他の会社から借りた高所作業車を使っておりました。

ですが、忙しくなってくるにつれて、自社で購入することにしました。

そこで、はじめて高所作業車を買ったわけです。

しかし当時は私も、高所作業車の選び方が、まったく分かりません。

使い方は分かっていますので「それまで使っているのと同じような、電工仕様の高所作業車だ」ということは分かるのですが・・・

- ・どこから買っていいか、わからない
- ・モノが良いのか、悪いのかも、わからない
- ・当然、価格の妥当性もわからない

とにかく「動かした感じでは使えそうだけど、それ以外のことが、よく分からない。」という状態だったのですね。

それでも、忙しいため時間もとれません。

あまり検討している余裕もなかったので、結局、「近くの店に並んでいたから」という理由で買っていました。

私が初めて中古の高所作業車を買った時はそんな感じでしたが、今おもえば「危険な冒険だったなあ〜」とドキドキします。

電気通信工事の仕事を23年やっていたものですから、高所作業車も現場で使う上で、色々なトラブルも経験しましたね。

そこから色々な経緯があり、現在、私の会社は、中古の高所作業車専門店（中古車販売業）に業態変更しています。

場所は、宮城県の富谷市にある商用社ドットコムというお店です。（地図でいえば、仙台市のすぐ北隣になります）

もう10年近く前になりますが、中古車の仕事をはじめた頃、一番驚いたのがオークションでの仕入れです。

その時は、中古車の取扱いと、電気通信工事の仕事を同時にしていましたので

「自分の会社の高所作業車を買おう」と思い、オークションで買いました。

オークションに出品されている車です。当時の私からすれば、素人目線で「出品されているんだから、当然、動くだろう」と思っていたわけです。

…が、実際に仕入れてみれば、次から次へと故障がくる！

「な、な、なんじゃこりゃ〜〜！！」って感じです。

「なんでこんなことが起きるの？」

「いつになったら、マトモなのに巡り合えるの？」と、かなり悩みましたよ。

「なんでなの？」という所を、業界の人の話をきいたり、よくよく考えてみたところ、要は「上物（架装部）のオークション」ではなく「車のオークション」なので、上物（架装部）が故障してようがしてまいが、「売るために仕入れをしている業者には関係ない」

こんな感覚らしいのですね。私としては違和感ありまくりなワケですが、業界目線、業界のスタンダードとしては、そういうケースが多いようなのです。

その結果、2章で書いたような

- ・「上物の知識のない人」がオークションに出品し
- ・「上物の知識のない人」を介して
- ・「上物の知識がない人」が仕入れて、皆さんに提供する

このような構図ができてしまうのです。

これは正直…「そんな雑な仕事、アリなの？」と、すごい衝撃を受けました。

さきほどご説明した通り、今は、高所作業車専門の中古車販売店1本で仕事をしていますが、ご縁があって「高所作業車のメンテナンス専門」の(株)スラストさんが、私の会社と併設することになりました。

そこで、電気通信工事業の経験を「高所作業車専門店」として活かそうと発行した、このガイドブックを、さらに大幅に刷新することにしました。

技術者として7537件を超えるメンテ経験のある、鈴木社長と協力しながら、「通信工事・電気工事会社の社長に、さらにお役に立とう」と誓ったのです。

そのような経緯があって、このガイドブック「中古の高所作業車の失敗しない選び方」を用意することになったのです。

次の4章では、あなたの味方になってくれる高所作業車の販売店を探すポイントをご説明したいと思いますが、まず、その前に、高所作業車の不具合が、具体的にどんな形で出てくるか、いくつか例をあげたいと思います。

これは何かというと「販売店は、例えばこんな所に注意した上で仕入れを行いさらに販売前、または販売時・販売後に対処できなければ」という例です。

それでは、高所作業車メンテナンス・アドバイザーの鈴木より解説させていただきますね。

【油圧シリンダーのサビ】



これは油圧シリンダーのサビです。ここがサビれば、多くの場合、動作自体はするものの、シリンダー伸縮の際の油漏れや、作業中の不意な縮小の原因になります。

シリンダー内部にサビが侵入すれば、当然、

作動不良の原因となります（動かなくなります）

高所作業車は各部に油圧シリンダーがありますが、安全に作業を行うために、重要な役割を持っています。また、環境面からも、作業油の流出を防ぐことはとても大事です。

【ブームのサビ・FRP部の亀裂】



鉄製ブームのサビが膨れた結果、FRPのブームに亀裂が発生しています。

FRPが使えなくなれば、電工仕様としては使えなくなりますし、さらにサビが進行すれば、ブーム折損、転落・死亡事故

故につながります。非常に大きい危険の予兆ですね。

【旋回部のサビ】



旋回部のサビが進行すると、その分、鉄板が薄くなって強度が下がってきます。

旋回部は、ブームやバケットの重量を支えている非常に重要な部位ですので、フレームのサビは、亀裂や破断に繋がるため、これも危険を招くサインです。

【ブームのワイヤーのサビ】



ブームの伸縮は油圧シリンダーとワイヤーロープで行われます。

このワイヤーのサビが進行すると、破断の原因になりますので、切ればブームを伸縮できなくなります。それだけでなく最悪、

使用中に破断すれば、ブームが急に落下することもありますので危険です。

【鉄製ガード部のサビ】



本来、ギア接触防止のためについている鉄製のガード部がサビています。

サビの凹凸により油圧ホースやケーブルと接触・摩擦が繰り返される事で、油モレや作動不良の原因となりますね。

【ボルトのちぎれ】



架装部とトラックを繋ぐボルトがちぎれています。繋ぎがなくなれば、分離の恐れがあるのは容易に想像できます。トラックのフレームに余計な圧がかかり、変形や亀裂につながります。

以上6つほど、例をあげましたが…必要でついているパーツですから「どこなら大丈夫」というのは少なく、例をあげればキリがありませんね。

しかし、高所作業車のメンテナンス・アドバイザーとして、あなたにお伝えしたいのは、「高所作業車が動くか？」だけでなく「使う人が、安全に、安心して使えるか？」という観点を、販売店側が持っているか。

ここは、高所作業車に限らず、特殊車両を取り扱うお店が、どうあるべきか。非常に重要なポイントなのではないかと思います。

「このような事に、事前に、または、乗る前に説明や対処してくれるような、責任意識をもった販売店を探すのが、最も重要である。」ということですね。

次に「それなら、どうやって、そんな販売店を探せばいいの？」という事になってくると思います。

いよいよ次は、どうやって「あなたの味方になってくれる、高所作業車の専門性が高い、販売店を探せばいいののか？」について、ご説明します。

第4章 ー 素人店と専門店を見極める5ポイント

大和です。それでは「あなたの味方になれる高所作業車の販売店」を、どう見極めて、選べばいいか。ご説明いたします。

結論から言うと、まず、理想的な高所作業車を探すには、理想的なお店を見つける必要があります。

「なぜ、車探しでなく、お店探しか」というと…。

商品を取り扱う側（店・人）が、高所作業車の状態を把握していれば、ほとんどの致命的なトラブルを、事前に防ぐことができるためです。

つまり、あなたは「売る人が、素人なのか、専門家なのか」を見極めることに集中するだけで、必然的に、高所作業車を選ぶにあたって、失敗する可能性はなくなっていくのです。

お店の見極め方（=選び方）は、大きく「5つのポイント」があります。

- 1つめは、価格の妥当性。
- 2つめは、仕入れの厳正さ。
- 3つめは、店頭（購入時）の状態。
- 4つめは、現場での実用性。
- 5つめは、そもそもの必要性。

この5つのポイントをおさえることで、失敗する可能性を排除し、

「あなたにとって、ベストな高所作業車選び」が、できます。

それでは、1つ1つご説明したいと思います。

1つめは、価格の妥当性です。「値付けに根拠はあるの？」ということです。

中古の高所作業車の価格の妥当性を知るために、まず、価格の根拠となっている「新車の高所作業車の、価格のモノサシ」を知る必要があります。

「高所作業車は、(ブームの長さ)メートル×100万円」と言われています。

10mの高所作業車だと、1000万円。

15mの高所作業車だと、1500万円。…と、言われます。

「えっ！？そんなにするの？」と、思ったのではないのでしょうか。

・・・そうなんです。実は、かなり高い買い物に、なっています。

昔はよく「ベンツが買える」なんて言われていましたが、最近では安い物件なら家と同等の金額なのです。

それに、さらにいろいろな要素が絡んできます。

例えば、バケット部と第三ブームが、鉄なのか、感電防止のFRP（絶縁）仕様なのか。アウトリガーが自動張り出しか、手動なのか。

左右の工具箱があるか、ないか。燃料が、ガスか、軽油か。下物（トラック部）が、二駆か四駆か。など、高所作業車には様々なオプションがあります。

オプションがあれば、さらに価格が上がるのは、想像がつきますよね。

ここで大事なのは、高所作業車は、「車と架装部がセットになっているもの」

という事。実は「車輜本体より、上物（架装部）の価値が高い」のです。

考えてみてください。車両本体だけの価格であれば「平ボディのトラック」と同じですよ。

ですので、高所作業車の価格というのは

下物（トラック）に対する価値は、（ほとんど）なくて

上物（架装部）に対する価値である。という事です。

「上物（架装部）で、どれだけ、あなたの仕事に貢献するか。」

これを、1番に考えていただく必要があります。

高所作業車は、上物（架装部）が重要。仕事に必要な「相棒選び」です。

相棒が「トラックの上に乗って、あなたを待っている」のです。

重要な考え方を、ズバリ、一言でいえば

「中古車販売店に、車を買っていく感覚」では、行かないでください。

重要なことですので、もう1度いいます。

「仕事に必要な、大切な相棒（上物）を、選びに行く」のです。

「中古車販売店に、車を買っていく感覚」では、行かないでください。

言い換えますと「上物の説明ができない人が売っている場合は、気を付けて」という事です。

上物の話、架装部の説明をきちんとできない中古車販売店さん。

下物（トラック）の話しかしない、中古車販売店さん。

…私も、現状を知ってしまった今では、ちょっと怖くて、買えないです。

どんな状態のものを扱っているか分かりませんし、残念ながら、専門車両の値付けに、ちゃんとした根拠があるとも、思えないからです。

だからこそ、きちんと「架装部の説明ができるお店」を、選んでくださいね。

これが、価格の根拠について、説明できるお店を見つけるためのポイント。

中古の高所作業車に「根拠のある値付けをできるお店の最低限の特徴」です。

2つめは、仕入れの厳正さです。

仕入れの厳正さというのは、目利きのことですね。

「高所作業車は、普通の車と違い、車と道具がセットになっている。」

「高所作業車は、上物（架装部）に、価値がある」

そして「車探しではなく、むしろ、相棒探し」という気構えで。

このことについては、先ほど説明しました。

2つめの仕入れの際の目利きですが、重要な点は価格の妥当性と同じです。

上物（うわもの）と呼ばれる、バケット部・ブーム部分、いわゆる架装部について、仕入れをしているお店の人が、知識があるのか、確認しているのか。

「知っているのか」が「それだけ重要なことである」ということですね。

売る人が、どれだけ分かっているのか、確かめていく必要があります。

中古車販売店の仕入れは、大きく2つの方法があります。

- ・オークション会場に行って競りをする方法
- ・ネットを使ってパソコンで競りをする方法

あるオークション会場では、ネットで落札している人が、半数以上いるという話も聞きます。

どちらで落札（仕入れ）するにしても、原則として、お店に「上物（架装部）」に詳しい人がいて、目利き・対応できる必要がありますよね。

ですが、高所作業車は仕事をする機械であるため、オプションも様々で、なおかつ地域限定の特別仕様まであります。これが仕入れを、また難しくします。

とてもじゃないですが、ネットでアップされている写真だけでは、そこまで判断しようがないのです。

そのため私たちの会社では、必ず現地に行って、みて、動かして、その他様々な点を自分自身で感じて、納得できるものを厳選した上で、仕入れしています。

東北の田舎から、全国のオークション会場へ行くのは、かなり大変です。

また、かならず仕入れできるとも限らず、空振りすることもあります。

しかし、ここで妥協せず、私たちが現地確認に行って、仕入れをしていることから、よい高所作業車をみつけるためには、こういった事が必須であるとお分かりいただけるのではないのでしょうか。

逆に言えば、「上物（架装部）」に詳しくない場合は、「車（トラック）として販売している可能性があります」から、上物の点検をしていない・上物のメンテができない、などの可能性があります。

そうなれば、もちろん、高所作業車がどんな状態か、把握も怪しいでしょう。

もし「上物の特定自主検査は、お客様自身でやってくださいね」と言われた場合は要注意です。このようなケースで購入する際は、「あとから何かあるかも」とそれなりの覚悟をした上で決断された方がいいかもしれません。

3つめは、購入時の状態です。

購入時の状態というのは、お店で並んでいる高所作業車の状態のことです。

「仕入れの後、店頭で並ぶ前に、既に点検されているのか・点検されていないのか」ということになります。

買った後に、重大な事故を防ぐためにも、仕事に穴をあけてしまわないためにも、余計なお金がかからないようにも、これは絶対に確認したい内容です。

私の現場時代。何十年も前になりますが、業界内で「ブームが折れた事故」がありました。新聞やテレビに報道されるなど、騒然としたことを覚えています。

さきほど3章で、メンテナンス・アドバイザーの鈴木社長に、写真つきで解説してもらった例の他、様々な所に、このような事故につながる「見えない危険」を抱えたまま、店頭に並んでいる可能性があるという事です。

第1章でお話したように「点検は、お客様自身で（実費で）、受けてくださいね」と言われた場合に、点検に出したら、重大な事故を招きかねない、不具合箇所が多数見つかって、何十万円と、百万円をこえる見積りがでてきて、ビックリ！というオチも、考えられます。

動作を確認するため「動かしてみてもいいですか？」と、自分で操作させてもらうのもいいかもしれませんが、やはり、動く・動かないだけで判断したり「見た目」で判断するのは、このような理由から非常にリスクーなのです。

まず「点検」されているか。で、判断した方がいいのではないかと思います。加えて、点検や修理が、きちんとされている店では、店頭に並ぶまで約1～2ヶ月かかります。

「店頭に並んでいない在庫があるか」などを合わせて確認するとよいでしょう。

4つめは、現場での実用性です。

高所作業車を探しているのは「仕事で使いたいから」という事ですよ。

用途に合えば、手頃な価格のものでも、いいでしょうし、逆に用途に合わないものであれば、いくら高いものを買っても、意味がないですよ。

ですから、現場での実用性というのは「高所作業車を買った後を考えること」

「自分の仕事で使う時に、足りない所はないか。あるいは、余計な所はないか」

あなた自身が、実際に使うシーンを想定できるか、イメージできるか。

同時に、「店がその点をサポートしてくれるか？」が重要です。

前章でもご説明したように、高所作業車には様々なオプションがありますが

「仕事に必要な機能を発揮しない高所作業車」を手にしても意味がありませんので、優先順位が重要です。「仕事でこう使いたいから、その機能がついているか」「使用する上で、見落としはないか」というのが、一番大切なのではないのでしょうか。

「予算」を一番にすると、結果、ムダな買い物になる可能性がありますね。

気にしてほしいのは、「投資に対する費用効果」です。

ただ、これは「店の提案力」が、とても影響してきますね。

安いからと、工具箱がない高所作業車を買ってしまい、後ろから、軽自動車
追走。2人分の人件費と、2台分の燃料費をかけて、効率も悪い。

この例は、何をかくそう、昔の私の失敗談です（笑）

「使ったことがない人」が売っているなら、やはり「どう使おうとしているか」
も、イメージが共有できませんよね。

だから、買う方としても「頼れる専門家がない」状態で、模索しながら使わ
なければなりません。

結果、私はこういう失敗を、色んなパターンで繰り返してしまったのです。

ですから、ここで気を付けて頂きたいのは

「店に現場力があるか？」

「この店の人からは、現場で使っているシーンをイメージしながら、説明や提
案をしてもらえるのだろうか？」という事です。

特に、高所作業車を使い始めて、まだ年数が浅い場合。

ぜひ、現場のイメージを共有しながら、相談に乗ってくれるお店、アドバイスが受けられるお店を探されることをお奨めします。

最後になります。5つめは、そもそもの必要性です。

そもそもの必要性というのは、これまでご説明した事もふまえ

「どの高所作業車が、自分の仕事に必要なのか、あっているのか」

「購入がいいか・レンタルか」購入ならば「新車なのか・中古なのか」

これらのことを、どのように判断すべきか、ということです。

価格感の違いとしては、例えば、車検整備・年次点検などが、全て含まれたフルメンテナンスのリースでしたら…リース期間を7年とみた場合に、月額で20万前後くらいの支払いになるでしょうか。

そんなに使用頻度が高くないのであれば、レンタカーという手もありますが、

「借りにいく手間・返しに行く手間」が、なかなか面倒だったりしますね。

また、年間支払っているお金を考えると、自社で所有した方がいいのではないかと。とか、年齢と共に、身体がきつくなってきた。とか。安全・コンプライアンスの面など。色んな理由で、自社所有がいい面も考えられます。

いずれの場合でも、販売側の都合で考えず、あなたの立場、目線で、一緒に考えてくれるお店を探して、ご相談いただければ、この点は安心ですね。

まとめるとー

1つめ：価格の妥当性 — 架装部の説明がきちんとできるお店（人）

2つめ：仕入れの厳正さ — 架装部について知識があり、

正しい判断ができるお店（人）

3つめ：購入時の状態 — 動き・見た目だけでなく、事前点検で状態を把握する

4つめ：現場での実用性 — 高所作業車を使う現場の話ができるお店（人）

5つめ：そもそもの必要性 — あなた目線で考えてくれるお店（人）

「上物（架装部）は自分でやってね」は「私、上物（架装部）は詳しくないよ」のサインですので、ご注意の上、選んでくださいね。

つまりは「売る人が専門家か、そうでないかを、どう見極めるか？」が全て。という事ですね。

高所作業車を「わかる」「つかえる」「なおせる」この辺りがおさえられている専門的な「お店・人」を探して頂く。

それが「失敗しない高所作業車選びのキーポイント」になります。

次の章では、上記のような、高所作業車が「わかる」「つかえる」「なおせる」専門店をお探しする上で参考になりそうな事を Q&A 形式でご説明しますね。

専門店の中でも、何を、どこまでやるかは、店や経営者の考えで違いがあると思いますので記載内容は、あくまで「私どもの会社の考え」とはなりますが。

あなたの味方になれる高所作業車の専門店をお探しになられる際の「一つの参考（基準）」にして頂ければと思います。

5章 ー よくあるご質問

Q.高所作業車の専門店と、他のトラック専門店との違いは？

私たちの考えでは、高所作業車を「わかる」「つかえる」「なおせる」を一体的にサポートできる「専門家集団のお店」が、専門店と考えています。

高所作業車に限らず、専門店は「ユーザーの目線」で深いサービスを追求するスタイルのお店です。

例えば、トラック専門店は「トラック（車）を扱う」専門店かもしれませんが、高所作業車専門店（車は当然として）「上物（架装部）を扱う」専門店です。

最大の違いは「上物（架装部）に詳しいか・そうでないか」という点になるでしょう。

当然、スタッフの専門性だけでなく、必要となる設備や技術、社内の業務（オペレーション）も違ってきます。この点で、乗用、トラックに限らず、上物（架装部）を扱う専門店は、他の専門店と大きく異なります。

私たちの場合は、高所作業車の中でも、さらに「電工の高所作業車」に特化しています。高所作業車1つとっても、利用シーンが異なるためです。

その結果「電工の高所作業車を使う社長」を考えた準備をした上で、提供しております。

専門店は、このような観点で判断していただき、車はもとより、上物（架装部）

に詳しく、かつ「あなたがお使いになれるタイプの高所作業車」に詳しい、

お店・人をお探しになってくださいね。

Q.電工を使う社長のために、どんな準備がされていますか？

あくまで私たちの会社の例ですが、具体的には、下記の準備をしております。
またこれらは、電工の現場経験をもとに、準備しているものです。

- ・エンジンオイル、オイルエレメント新品交換
- ・ミッションオイル、デフオイル新品交換
- ・クーラント新品交換
- ・パナソニック製カオスバッテリー2個（24V）新品交換
- ・補助ロープ新品交換
- ・傾斜角度計新品取り付け
- ・アースリール、アース棒取り付け
- ・アンチスキッドテープ（滑り止めテープ）貼り付け
- ・バケット内ゴムマット取り付け
- ・輪止め4個取り付け
- ・ジャッキベース4枚取り付け
- ・運転席足元ゴムマット新品交換
- ・シートカバー貼り替え施工
- ・上部操作盤、銘板新品貼り替え
- ・車輻取扱説明書、上物取扱説明書付属
- ・車輻スペアキー、工具箱スペアキー付属
- ・発煙筒新品交換
- ・車輻の下回りに塩害ガード、マフラー耐熱スプレー施工

※私たちの店においては、店頭車輻はお急ぎの方向けに準備したものですので、特定自主点検済みで、表示価格に上記オリジナルサービスを全て含んでおります。

（備品においては、付属なし・破損しているものに限りません）

※上記オリジナルサービスについては「これらが、なぜ、高所作業車を使う方に必要か」を含め、巻末資料に「写真付き」で詳しく記載しておりますので、そちらもご覧ください。

Q. 「車のお探し専門店グループ加盟店」って何ですか？

「お探し専門店」に関しては、よくご質問いただきますので、参考までに記載いたしますね。

私たちの会社は「高所作業車の専門店」のうえ「妥協することなくカーライフをおくるためのお手伝い」をミッションに、全国219社以上が活動する「車のお探し専門店グループ加盟店」です。

「車のお探し専門店」は、限られた展示台数の中で妥協して車を買うのではなく、お車に対するご希望や思い入れをよく聞き、全国131の提携オークション会場から、ご希望に合った1台を探し出す専門店です。(完全無料でお探し依頼ができます。)

ご依頼により「ご希望のお車を探し出す専門店」であり、それが仕事ですので「お探し依頼をしたから買わなくてはいけない」などと言うことは一切ありません。

お探し後でも希望に合わない場合は、キャンセルできますので、お気軽にご依頼頂けます。

弊社の場合は、専門車種で、お渡しするまでの準備期間があることから「高所作業車のお探し」に加えて、あらかじめ店頭「上物（架装部）含む、仕上げ済みの高所作業車」を準備しております。

高所作業車は、専門車両の中でも「上物（架装部）」が重要な、超特殊車両ですので「通常のお探し専門店」とその点で異なりますが、妥協なくリスクなく納得の1台をご提供して、快適なお仕事をして頂きたい思いは同じです。

乗用車をお探しの場合は、ぜひお近くの「車のお探し専門店」をご参考に見てくださいね。

Q. 「お探し」のメリット・デメリットは？ どんな人におすすめですか？

まずデメリットですが、特に「電工の高所作業車」のケースにおいては、中古で良質な車輛が、かなり限られています。ですから「お探しに一定の期間が必要」になる可能性が高いです。

また「お探しの期間」の他、点検などの期間が別途必要となります。

結論としては「今すぐ、高所作業車が必要」という人よりは、「何ヶ月か先に、必要なんだけど」といった、(目安として) 6ヶ月ほど余裕がある方におすすめです。

お探しのメリットは2つあります。1つは、その時の最適価格でご購入いただける点です。一般の販売店は、2～3ヶ月前の仕入れ値で販売価格を決めているわけですが、私たちの場合、「お探しのご依頼」を頂いてから、スポットで仕入れをしています。結果として、仕入れ値そのものが他社様より安くなり、最終的なご提供価格に反映されます。

お探しの2つめのメリットは、探してほしい方が、押し売りされない点です。従来のように、展示車両を並べ売りする販売店の場合、お客様の希望の条件と多少違う条件であっても、在庫車両を売りたいがために、展示車両を強く勧めて来ることが多いわけです。この結果、中古車業界では、消費者庁に毎年7000件を超える相談が寄せられています。
(泣き寝入りしている方が、それだけ多いということですね)

しかし、お探し専門店は、基本的には在庫を持ちませんので、そのような心配がありません。
(弊社の場合は、専門車両で仕上げまでの期間が必要なため、数台店頭準備しておりますが)

また、上記をふまえて「納得の1台」をお仕事の相棒にさせていただきますよう、最大限に気を配るため、私たちの会社におきましても「お探して高所作業車が見つかった後にもキャンセルが可能」となっております。

Q.今ある高所作業車は、店頭の在庫だけですか？

お探し専門店は、基本的には在庫を持たないのですが、私たちの会社は専門店のため、例外的に在庫を店頭に用意しております。中古の高所作業車で良質車は「本当にすぐに見つからない」のです。どれくらいの期間が必要かという、最短でも2週間、最長で6ヶ月かかる場合もあります。

そのため「なんとしてもヤマトさんをお願いしたい」というご要望があった際に、店頭在庫がないケースで「お急ぎのご要望にお応えできない」という事が多々ありました。

これを受けて検討した結果、店頭には「特定自主点検など、全てのライン工程が完了した状態で準備」することとしました。店頭にある高所作業車は、上物（架装部）含めメンテ済みのものです。

店頭のほかに、仕入れてから「点検」「仕上げ中」の高所作業車がありますので、ある程度お急ぎの場合は、店頭在庫だけを見て判断されず、お電話などで1度ご確認いただく事もできます。

私たちの都合ではなく「高所作業車は、市場薄」という事情があるので、良質な高所作業車をお探しの場合は、お早めに…できれば「6ヶ月前」からお探しになられることをおすすめいたします。

Q.「高所作業車をお探し」依頼した時の流れや期間は？

高所作業車の事というよりも「お探し」についての事ですので、別途資料にいたします。巻末に用意しますので、必要な場合ご参考にして頂ければ幸いです。（サイトにも記載しますね）

<http://syon-you-sya.com> の「高所作業車のお探しページ」をご覧ください

Q.お探しや店頭の高所作業車は必ず「分解点検」しているのですか？

私たちの場合は、必ずしております。理由は、中古車といえど、安全・安心な高所作業車を提供するためです。分解点検はおもに、弊社併設の（株）スラストの鈴木社長（高所作業車メンテナンス・アドバイザー）が行いますが、円滑な提供にむけ、他メーカー出身技術者とも提携しております。

専門車両の場合は、自社対応または専門業者との連携体制をご確認ください。

ここで、最も大事で、必ずご確認いただきたいのは「事前点検の有無」です。

Q.特定自主検査は、別途必要ですか？

店頭車輛は、既に行われております（別途必要ありません）

お探しの場合は、ご提供までの途中工程にて、特定自主検査を行います。

（お探し後のお見積りは、特定自主検査の費用も含んでおりますので、ご安心ください）

こちらの「特定自主検査」についても、上記同様です。

Q.自社のカラーに塗装できますか？

複数台所有している場合など、自社のカラーリングで納車してもらおうと、満足感が違いますよね。

お仕事でお使いになる車ですので、必要な場合は、販売店にご相談いただけるような体制があるかご確認ください。なお、私たちの会社の場合は、カッティングシート、塗装などで、社名・看板施工ができます。

これに関しては、別途行うことにそれほどリスクはありませんが、車の準備段階でやってもらうことで、乗り出しまでの期間が短縮できます。ご参考まで。

Q.東北・宮城からは距離があります。遠くても大丈夫ですか？

大丈夫です。全国各地から、お探しのご依頼や、店頭車輛のご注文を頂いております。

四国などの遠方にも納車させて頂いております。

※大手陸送会社（株式会社ゼロ様）によりお届けいたします。

ご自分の会社と、販売店の会社の都道府県が異なる場合に、「取りに行くことをOKする会社」は、ご注意ください。仮ナンバーは保険などの面でリスクがあります。陸送をご利用になられますことをおすすめします。

Q.ちょっと聞きたい事があるのですが、相談してもいいですか？

大丈夫です。お気軽にお電話ください。ご購入される方だけでなく「高所作業車に詳しいパートナーがいない」という電工の経営者さんから、多くのご相談をいただいております。

終わりに

「電工仕様の高所作業車」を探す社長のための
中古の高所作業車を探す6ヶ月前には知っておくべき

【失敗しない中古の高所作業車の選び方】

を、ここまでお読みいただいて、ほんとうにありがとうございます。

あらためて、あなた様とのご縁に、感謝いたします。

大事なところを、もう1度、まとめますね。

まとめ：あなたの味方になってくれる専門店（専門家）の「選び方」

- 1つめ：価格の妥当性 — 架装部の説明がきちんとできるお店（人）
- 2つめ：仕入れの厳正さ — 架装部の説明がきちんとできるお店（人）
- 3つめ：購入時の状態 — 動き・見た目だけでなく、事前点検の有無で判断する
- 4つめ：現場での実用性 — 高所作業車を使う現場の話ができるお店（人）
- 5つめ：そもそもの必要性 — あなた目線で考えてくれるお店（人）

「上物（架装部）は自分でやってね」は「私、上物（架装部）は詳しくないよ」のサイン。
ご注意の上、選ぶことを、お任せください。

つまりは、どのように「売る人が専門家か、そうでないかを見極めるか？」が全て。

この事を念頭においていただければ…「わかる」「つかえる」「なおせる」を
一体的にサポートして、あなたの味方になってくれる「専門店（専門家）」の
要件を満たすお店（人）を見つけ出すことができるでしょう。

そうすれば、いつでも相談できるパートナーとしての関係にもつながり、あなたも、あなたの会社の皆さんも、安心・安全に仕事ができるよう体制ができていきます。

最後になりますが、これから、どこのお店の高所作業車を検討するにしても
中古車販売店に「車を買いに行く感覚」では行かずに「仕事に必要な、大切な
相棒を探しに行く感覚」で、信頼できる専門家を探し、相談してくださいね。

あなたが、よき専門家と出会い、高所作業車を通して、充実した仕事、プライベートを過ごしていただけますよう、一同、祈っております。

○最後までお読みくださった、あなたへ

なお、このガイドブックをお読みになって「もっと詳しい情報がほしい」

「さらに高所作業車について教えてほしい」とお思いの方は、どうぞお気軽にご相談くださいね。

お役に立てますよう、誠心誠意、アドバイスさせていただきます。

フリーダイヤル／^{しよーよーしや}0120-408 - 048（商用社）

仕事で使う車だから

馬や牛のようには

愛着をもち

長く安心して

乗ってもらいたい

高所作業車専門アドバイザー

(株) 商用社 代表取締役

大和幸治 (やまところじ)



1970年1月／宮城県多賀城市生まれ

1988年 宮城県塩釜高校卒業

1990年 (株) 東洋通信に入社

1999年 独立起業・屋号は「ヤマト通信」

2009年 法人化「ランチェスト(株)」

同年 中古商用車の卸販売を開始

2013年 電気通信事業部廃止

中古車販売店に1本化

同年 不透明な中古車業界において透明性の高い取引を
目指す「車のお探し専門店グループ」に加盟

2014年 宮城県富谷市に移転「商用社.com」オープン

2018年現在。高所作業車専門アドバイザーとして活動中

■資格等

- ・中古自動車査定士(社)自動車取引公正協議会
- ・中古自動車販売士(社)日本中古自動車販売協会連合会
- ・古物商取引許可 宮城県公安委員会許可 第221040001039号
- ・高所作業車運転技能講習

■あなたへのメッセージ

20歳から工事一筋だった自分が、高所作業車の専門家として活動する事になるとは…。数年前は、まったく思いもしませんでした。これまでの経験則を、皆さんのお役に立つ形で提供できて、本当に嬉しく思っております。よき出会いは、大きく人生を変えますね！このガイドブックをお読みいただいている、あなたとのご縁にも、心から感謝です。

■ご連絡先

(株) 商用社 〒981-3311 宮城県富谷市富谷北裏55

フリーダイヤル：0120408048 電話：0227253270 FAX：0227253271

<http://syou-you-sya.com> (商用社ドットコム) メール：info@syou-you-sya.com

高所作業車メンテナンス・アドバイザー

(株) スラスト・代表取締役

鈴木輝明 (すずきてるあき)

1985年3月／宮城県塩釜市生まれ

2003年 宮城県工業高校卒業

同年 大手電気工事会社へ入社

2007年 上物メーカーのメンテ専門子会社に勤務
主に高所作業車のメンテを担当

2017年 独立し(株)スラストを設立

2018年 高所作業車メンテナンス・アドバイザーとして
宮城県仙台市を中心に活動中



■許可・資格等

- ・高所作業車特定自主検査者（宮城県労働局登録：宮162）
- ・移動式クレーン運転士
- ・クレーン運転士
- ・第二種電気工事士
- ・高所作業車運転技能講習
- ・玉掛技能講習
- ・車両系建設機械運転技能講習（整地等）
- ・車両系建設機械運転技能講習（基礎工事用）
- ・フォークリフト運転技能講習
- ・ガス溶接技能講習

■あなたへのメッセージ

電気工事から始まり、高所作業車のメンテが専門となって、早いものでもう11年です。振り返れば、のべ7537件の高所作業車の点検やメンテナンスを行っていました。専門アドバイザーのヤマト社長と協力しながら、高所作業車をお使いの社長のお役に立ち、信頼され続ける技術会社となれば幸いです。お困りの際は、お気軽にご連絡ください。

■ご連絡先

(株) スラスト 〒981-3311 宮城県富谷市富谷北裏55（商用社併設）
フリーダイヤル：0120408048 電話：0227253270 FAX：0227253271
メール：t.suzuki@kkthrust.com